取扱説明書

保管用

HITACHI
Inspire the Next

mini INVERTER
日立蛍光灯用電子安定器

HLA111SEL24

この度は日立蛍光灯用電子安定器(ミニインバータ)をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございました。
ご使用に際し、下記事項をご一読のうえ、正しくご使用ください。

■取付工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

施工説明 **工事店様へ・・・この取扱説明書は工事終了後、照明設備を保守管理される方にお渡しください。**

安全上の注意

商品及び取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ
商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠警告

■インバータの取付工事は、必ず、電気工事店に依頼してください。
■取付工事は「インバータの取り付けかた」に従い確実に行ってください。取付工事に不備があると、火災、感電、落下の原因となります。
■インバータの構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。故障・感電、発煙・発火などの危険性があります。
■点灯回路内にコンセント等の接続器を使用しないでください。絶縁破壊により火災の原因となります。
■表示された電源電圧(定格電圧±6%)、周波数以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
■ランプ・インバータの取り付け、取りはずしの時は、必ず電源を切ってから行ってください。
インバータの二次側には高電圧が発生しているので、活線作業をしないでください。感電等の原因となります。

◀

⚠注意

■インバータは器具内専用です。直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所、風などが直接当たる場所等の環境が悪い場所では使用しないでください。火災、感電、落下の原因となります。
■リード線を持って運搬するのはやめてください。不点灯、絶縁不良などの原因となります。
■インバータに交換の際は、既存器具のソケット、端子台、リード線などの電気部品が劣化している場合がありますので、必要に応じて交換してください。
■絶縁抵抗試験は必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し不点灯の原因となります。
■インバータを組みこんだ器具には接地工事が必要です。「電気設備技術基準」に準じて、施工してください。
接地工事を施さないと感電の原因となることがあります。
■ランプ交換の際には、本体表示および取扱説明書に従って指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災、不点灯、絶縁不良の原因となります。
■電源を切ってランプを交換してください。電源を入れたままランプを交換しますと保護回路動作により電源が遮断状態となり、ランプが点灯しない場合があります。その場合は電源を入れ直すか、反対側のソケットからランプを入れ直してください。
■器具内周囲温度は、0～50℃の範囲でご使用ください。周囲温度が高い場合にはインバータが短寿命になったり、内蔵の保護機能が動作したりします。
■インバータを2台以上並べて設置する場合、10ｃｍ以上間隔をあけて通風に注意してください。
また、狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、インバータが過熱しないようにしてください。
インバータが短寿命になる恐れがあります。
■三相四線、単相三線式の配線下で使用する場合は、負荷のバランスをとり、ブレーカーは中性線が他相線路より後に遮断される仕様のものをご使用ください。
■インバータ照明器具の場合、旧タイプの漏電ブレーカではトリップする場合があります。この場合は高周波対応形漏電ブレーカをご使用ください。

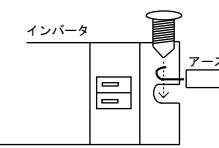
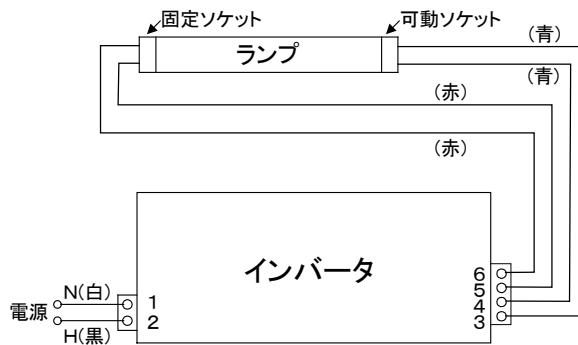
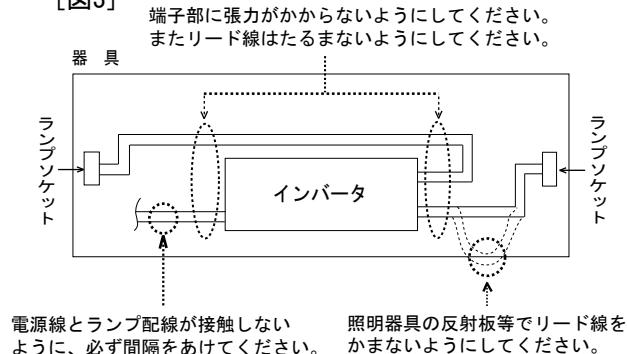
ご使用上の注意

■電波の弱い場所(山間、鉄筋建物など)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
■器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどをご使用するのはお避けください。リモコンが動作しないことがあります。
■器具の近くでワイヤレスマイクの使用は、お避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。

インバータの取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化しております。

必ず電源が遮断されていることを確認の上、作業を行ってください。

1. 照明器具のランプ及び反射板を取り外してください。
2. 安定器のリード線をインバータと配線ができるように切断してください。
3. インバータをネジでしっかりと固定してください。
   器具本体にアース端子が付いていない場合は、アース線をインバータにネジで確実に共締めしてください。[図1]
   注)インバータ外郭と器具(金属部)を電気的に接続してください。
4. 結線は[図2]のように行ってください。インバータに接続するランプソケットには青線(3-4端子)に可動ソケットを、赤線(5-6端子)に固定ソケットを使用してください。
5. 取り付け後、照明器具の反射板など確認しやすい位置に付属の「適合ランプ」シールを貼ってください。

〈インバータ取付上の注意〉

●[図3]に示すようにしてください。

注)ランプ線は片道3m以下で配線してください。なお、3-4端子ランプ線を5-6端子のランプ線より短く、最短で配線してください。

〈インターロックスイッチ付器具の場合〉

●110Wインターロックスイッチ付器具の配線は[図4]に示すようにしてください。

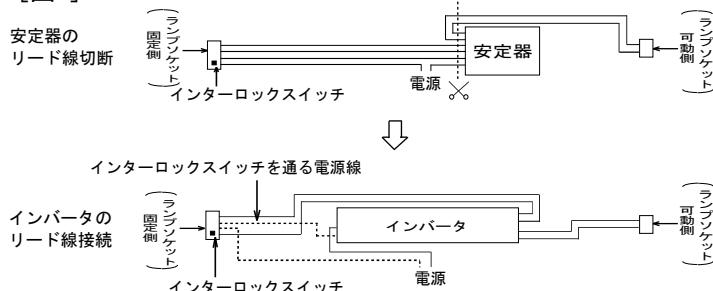
●施工の際、電源の配線は電源線(H側)をインターロックスイッチ(ソケットに付属)を通してインバータに接続してください。

●既存のインターロックスイッチ配線を使用すると電源線が長くなり雑音が高くなる場合があります。その場合はインターロックスイッチを介さずインバータまでの電源線を最短にしてください。

[図4]

[図1]

[図2]

[図3]

故障診断

現象	原因	対処方法
不点灯・ランプの寿命が短い	ランプピンとランプソケットの接続は完全ですか	ランプを入れ直してください。接触片が変形している場合はソケットを交換してください。
	調光器が接続されていませんか	インバータは調光出来ません。調光器を外してください。
	インバータの結線は、確実に行われていますか	結線を確認してください。端子台にしっかりと接続されていることを確認してください。ランプ線の長さが片道3m以下であることを確認してください。
	絶縁不良	電線の被覆が傷ついていないか確認してください。
	電源電圧が低くないですか	電源電圧は、定格電圧±6%の範囲でご使用ください。
	保護回路が働いている	電源を入れ直してください。
	使用ランプを間違えていませんか	FLR110H/100蛍光ランプをご使用ください。

特にご注意を

●本安定器は、器具内専用です。別置はできません。●必ずアースを取り付けてください。アースは法律によりD種接地工事が必要です。●配線材はバラ線を使用し、集合線、平行線、多芯ケーブルおよびシールド線は使用しないでください。●調光はできません。●防湿・防雨形器具など湿度の高い場所に使用される照明器具には使用できません。●密閉形器具、看板灯など安定器周囲温度が高くなる照明器具には使用できません。●密接して配置された建築化照明など照明器具の周囲温度が特に高い場所(35℃以上)では使用できません。●本安定器は、FLR110H/100蛍光ランプ専用です。●非常用器具には、使用できません。●安定器交換された照明器具については、交換後の事故、不具合については交換を指示されたお客様側で対処願うことになりますので、ご承知ください。
●安定器交換に際しては、十分な事前調査、適合安定器の選択、他の関連部品の点検・交換及び適正な交換工事が必要です。●安定器交換された既存器具のソケット、端子台、リード線などの不具合については、交換されたお客様側で対処をお願いすることになります。

アフターサービス･･･ご使用中異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店(販売店)にて、不具合状況を確認してもらい代品と交換してください。交換後は安定器を調査するため返却をお願いします。
なお、返却する際、安定器の形式およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

1-D4635-1A